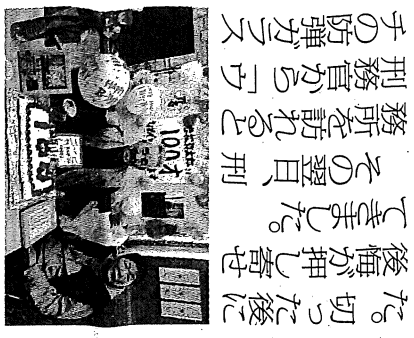


(プロフィール)
 たかはま・としゆき 介護・重慶訪問介護・障害福祉サービスを提供する株式会社土屋の代表取締役。慶應義塾大学文学部哲学科卒。障害者団体の事務局や高齢者ダイバーシビルの事業統括などを経験。アルコール依存症で生活保護を受給していた時期もある。

「高断者住宅」
 高断者住宅は、高齢者が安心して暮らしていけるように、さまざまな配慮が施されています。例えば、バリアフリーの設計、緊急時の対応体制、コミュニティの形成などが挙げられます。また、高齢者の生活の質を向上させるための様々なサービスも提供されています。



北海道の田舎で高齢者住宅をやっていまして、いろいろ相談が来ます。ある日、電話の相手は網走刑務所で出所後の復讐を支援する担当でした。「前科と犯の65歳の男性を受け入れてもらいたい。その方は、強盗・傷害で何度か刑務所を出入り、最後は殺人未遂で服役されていて、近々出所する」とのことでした。細かい話を聞きますと「隣町に実家があり会社を経営している。現在弟がその会社を継いでいて、最後に殺人未遂の被害者は父親で、寝ているとベッドの上で、寝た状態で殴り続けられ重症を負わせ、た。そんなことで家族との縁は全く無い」と付け加えられました。私は「即座で可能なので少々時間を下さい」と電話を切りました。その後ホムへの職責に相談したところ、全責が懸念に反対。そんな方は受け入れることはできないし、受け入れる必要もない。当然と言えは当然のことです。翌日、お断りの電話をくれたら、何故か「どうお断りしたのですが、何故か」といふお断り面談させてもらえませんか」といふ言葉に委ねてしまいましたが、切った後に後悔が押し寄せました。その翌日、刑務所を訪れると、その防弾ガラス

みんな楽しんで誕生日を祝うのが恒例（本文と関係ありません）

北海道高齢者向け住宅事業者協会 理事長・本島研介
 北海道高齢者向け住宅事業者協会理事長の本島研介氏は、高齢者住宅の意義と可能性について私たちがまだ多く知らないことを学び、挑戦していかねばなりません。

高齢者住宅の可能性①

「高断者住宅」
 高断者住宅は、高齢者が安心して暮らしていけるように、さまざまな配慮が施されています。例えば、バリアフリーの設計、緊急時の対応体制、コミュニティの形成などが挙げられます。また、高齢者の生活の質を向上させるための様々なサービスも提供されています。

北海道の田舎で高齢者住宅をやっていまして、いろいろ相談が来ます。ある日、電話の相手は網走刑務所で出所後の復讐を支援する担当でした。「前科と犯の65歳の男性を受け入れてもらいたい。その方は、強盗・傷害で何度か刑務所を出入り、最後は殺人未遂で服役されていて、近々出所する」とのことでした。細かい話を聞きますと「隣町に実家があり会社を経営している。現在弟がその会社を継いでいて、最後に殺人未遂の被害者は父親で、寝ているとベッドの上で、寝た状態で殴り続けられ重症を負わせ、た。そんなことで家族との縁は全く無い」と付け加えられました。私は「即座で可能なので少々時間を下さい」と電話を切りました。その後ホムへの職責に相談したところ、全責が懸念に反対。そんな方は受け入れることはできないし、受け入れる必要もない。当然と言えは当然のことです。翌日、お断りの電話をくれたら、何故か「どうお断りしたのですが、何故か」といふお断り面談させてもらえませんか」といふ言葉に委ねてしまいましたが、切った後に後悔が押し寄せました。その翌日、刑務所を訪れると、その防弾ガラス